

福寿園だより

Vol. 93

令和5年4月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名
(うちショートステイ15名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名
(うち認知型12名)
- ◆福寿園ヘルパーステーション
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会
福寿園広報委員会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70
TEL (0244) 25-2811
FAX (0244) 25-2812
URL <http://minamisomafukushikai.or.jp>
MAIL fukujuen@chive.ocn.ne.jp

合格しました!!



ウインサン介護職員

合格しました。
これからのいいことが
あるように頑張ります！

イジンモー介護職員

合格できて嬉しいです。
これからもっともっと
頑張ります！

特定技能介護職員 N3 合格

特定技能介護職員の二人が、JLPT（日本語能力試験）レベルN3に一回目のチャレンジで見事に合格しました。試験は、言語知識（文字・語彙・文法）、読解、聴解の科目に分かれており、各科目の基準点を上回り、且つ合計基準点を満たさなければなりません。N3は、《日常的な場面で行われる日本語をある程度理解することができる》レベルで、会話ではナチュラルスピードで交わされる内容が理解できることとなります。

昨年8月には介護福祉士としてのファーストステップである、介護職員初任者研修を修了し、今回はJLPTの合格。入職から10ヶ月の間、一步一步確実に成長を遂げています。

今後の二人の活躍を皆さん応援してください！



ハッピーデイ

(福寿園デイサービス)



年末行事

年末カラオケ大会



毎年恒例のカラオケ大会を開催し、皆さんの十八番をのびのびと歌っていただきました。

他の方の歌っている姿を見て、「私も歌ってみようかな。」と、飛び入りで参加されるご利用者もいらっしゃいました。歌う人も聴く人も歌の力で明るい気持ちになりました！

フィナーレは全員で「お正月」を合唱し、ホール全体に元気の歌声が響きわたりました♪



新春行事

新春すごろくゲーム

お正月にちなんだゲームを企画し、「すごろく」と「ラムネのつかみ取り」を行いました。

「すごろく」は、3チームに分かれてのチーム戦です。ご利用者は、大きなサイコロを両手で投げ、出目で一喜一憂していました。

別の日に行った「ラムネのつかみ取り」では、どれだけたくさん取れるかを皆さんそれぞれに思案しながら、指をめいっぱい広げて真剣に挑んでいました。

ゲーム終了後は、参加賞とおやつで健闘を称え合いました。



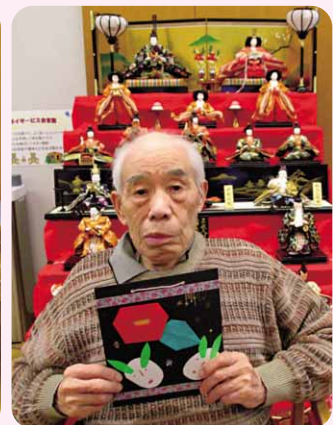
2月行事

季節の貼り絵作り

2月の行事として、「季節の貼り絵作り」を行いました。

折り紙で椿の花を1枚ずつ折り、葉っぱと一緒に台紙へ貼り付けた後、雪うさぎの体の折り紙を貼り、目を描いて完成です。

完成後は、少し早めに飾った雛壇の前で記念撮影をしたり、素敵に仕上がった作品をお互いに見せ合ったりしながら楽しい時間を過ごしました。おやつにかわいいハート型の和菓子も登場し、存分に季節感を味わいました。



元気に豆まき！

2月2日、豆の代わりに新聞紙を丸めた玉を使い、「豆まき」を行いました。ご利用者の皆さん、



職員扮する

鬼達に「鬼は外、福は内！」と大きな声を出しながら豆を投げていました。

節分の豆まきは、霊力を持つとされる豆をまいて病や災いを祓い、更にその豆を数え歳の数だけ食べることで力を得て幸せを祈る行事と言われます。今年も幸せな1年になりますよう…。

特別養護
老人ホーム
福寿園



雛人形と記念撮影！



2月9日から3月6日までの間、雛段飾りを展示しました。

3月2日には、記念撮影も行いました。雛人形を眺めながらご利用者のお一人が、「こんなべっぴんさんと写真を撮るのは恥ずかしいな。」と話され、その場にいたご利用者や職員みんなが笑顔に包まれました。



生活の様子

1月は新型コロナ感染予防の為、ご利用者が自室で生活され、フロアに誰もいない状況が1ヶ月ほど続きましたが、今ではフロアで皆さん揃って食事や余暇の時間を過ごすことが出来ています。ご利用者同士での会話も聞かれ、毎日明るく楽しく過ごしています(^^)



福を呼び込む！

2月3日(金)、節分行事で豆まきを行いました。

赤鬼・緑鬼に扮した職員に「鬼は外！福は内！」と元気いっぱい豆をぶつけました。さくら荘内に、ご利用者の皆さんの明るい笑顔や元気な声が響きわたりました。

今年も立派に鬼退治出来たので、福を呼び込めました。



ケアハウス さくら荘

ひな祭りカフェ

3月3日は「ひな祭り」。さくら荘では入居者20名に参加していただき、「ひな祭りカフェ」を賑やかに開催しました。春を感じさせる「桜もちと甘酒」を味わいながら、ひな祭りをお祝いしました。とても和やかなひとときとなりました。



法人内部研修

虐待防止・身体拘束に ついでに研修会

2月24日、福祉リスクマネジメ
ント研究所所長鳥野猛氏を講師に迎
え、オンラインによる法人合同の虐
待防止・身体拘束についての研修会
を開催しました。

施設職員による入所者への虐待が
時折報道されます。研修の中で、も
し虐待をしている職員を見た場合、
その職員との関係によっては、本人
に直接「その行為は虐待です」と言え
ない場合がある、との話がありまし
た。見て見ぬふりをすることは絶対
にあってはならないことですが、先
輩職員が虐待をしている場合、後輩
職員は言いがかりはまずです。小さ
なことでも、報告・相談し合える職員
同士の関係を築いていくこと
も、虐待防
止に繋がると
学びました。
今後も定期
的に虐待につ
いての研修会
を開催し、ご
利用者の権利
が守られる施
設でありたい
と思います。



こんにちは

原町東地域包括支援センター

です!

家族介護教室の報告

1月18日(水) 健康福祉センター「ゆらっと」にて「高齢者避難について～避難後の過ごし方をみずえて～」と題して、南相馬市地域包括支援センター小高地区担当 鈴木琢己様(社会福祉士・防災士)より講義をいただきました。「トロミ剤を用いた水の飲水体験」、「新聞紙を利用したスリッパ工作体験」を行い、参加者からは「もう一度、備品を見直します」「高齢者避難について続編を希望する」等の声をいただきました。

今後も皆さんに役立つ、「家族介護教室」を開催してまいります。



家族介護者交流会開催!

2月28日と3月15日に、「家族介護者交流会」を開催しました。

家族介護者交流会は、介護をされているご家族同士の交流を図り、互いの情報交換をしたり、気分転換などを図ることを目的とした会です。

新型コロナウイルス感染予防の為、短時間での開催となりましたが、美味しい食事を食べ、ゆったりと過ごしていただくことができました。参加者からは、「自分以外にも介護している方の体験を聞いて参考になった」「話ができて気分転換になった」等の感想をいただきました。

今年度も家族介護者交流会を開催予定です。是非、ご参加ください。



いつもありがとうございます
ごぞいませ

寄付寄贈 (12月16日～3月15日)

- ◎小林 光男様 (原町区上高平)
 - ◎松崎 俊幸様 (原町区二見町)
 - ◎寺内 利光様 (原町区江井)
 - ◎堀内 直人様 (原町区高)
 - ◎アグリあぶくま株式会社様 (原町区高) 白菜、ほうれん草
- 寄付金

編集後記



新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから3年、5月には季節性インフルエンザ等と同じ5類に移行する方針が決定されました。全世界が右往左往し、医療、経済、人々の生活様式がガラリと変わってしまいました。精神的な緊張が長期間続いているので、早く元の生活に戻って欲しいと願うばかりです。
ストレスから完全に逃れることはできません。だからこそ、日常生活の中にストレスを軽くする小さな工夫をたくさん取り入れることが大切になるのだそうです。皆さんはどの位工夫されていることがありますか?
心身の疲れから、体調不良になる前に、自分自身を労わる時間を作ってあげられるといいですね。